

社会福祉施設 BCP(業務継続計画) 運用研修 開催要綱

趣旨 介護・障害福祉サービス事業者等においては、業務継続に向けた計画等の策定が令和6年4月より義務化されています。また、児童福祉施設等では、令和5年より策定が努力義務化されています。しかし、BCP（業務継続計画）は、社会環境や経営体制の変化等の多様な要因を考慮して、いつでも運用可能なように見直していることが、策定と同様に重要です。

本研修は、各法人等が、必要時にBCPを運用できるように、策定したBCPを見直すための考え方やその手法等を学ぶ目的で開催します。

<この研修のポイント>

- 自施設・自法人のBCPについて、演習をとおして点検できます
- BCPの「見直しのポイント」がわかりやすく学べます

<こんな方におすすめ>

- 自施設・自法人のBCPに不足がないか、実用性があるか気になっている方
- 「いつでも運用可能な状態でBCPを維持しておきたい」と考える方
- 災害や感染症発生に向けた訓練について、企画や手法、必要な準備を学びたい方

開催形式

集合

対象

福祉施設等の施設長、防火管理者、防災責任者等

定員

50名

日程・会場

令和8年9月11日（金）
札幌市／損保ジャパン札幌ビル11階（札幌市中央区北1条西6丁目2）

研修費用

会員・準会員 5,000円 非会員 12,000円

申込期間

令和8年7月10日（金）～8月7日（水）

受講決定

令和8年8月14日（金）までにご連絡します。

プログラム

時間	研修科目	研修内容
9:15～9:45	受付	研修費用の受領
9:45～10:00	オリエンテーション	
10:00～15:00	講義・演習 「平常時のBCP推進体制づくりについて」 「訓練の企画と実施手法について」	BCP（業務継続計画）の実効性を高めるためには、平常時から組織全体で取り組むことが大切です。どの部門が何をするのか、また、事務局は何をするのか等、PDCAサイクルをふまえた組織的な活動（仕組みづくり）の理解を深めます。 また、BCPの見直しの要は、訓練にあります。多様な訓練がありますが、特に机上訓練の体験を通じて、訓練の企画・実施手法と、訓練結果の活かし方について学びます。
15:00～16:00	講演 「災害時における自動車の活用方法について」	地震や台風などの災害時には、停電が発生する恐れがあり、電動車（電気自動車、燃料電池自動車、プラグインハイブリッド自動車、ハイブリッド自動車）を移動式電源として活用することにより、給電が可能になります。 災害時における自動車の活用方法について学びます。

講師

宮本 薫 氏

SOMPOリスクマネジメント株式会社

医療・介護コンサルティング部（兼） コーポレート・リスクコンサルティング部

上席コンサルタント／米国公認会計士